

彼の我慢汁で、陰茎がテラテラと光っている。

その滑りを利用して、ライカルの上下する手が早まる。

笠の出っ張りの下を何度か小さく擦ると、彼の大きな袋が収縮した。

刹那。

「ふっ、ん！」

押し殺した声が漏れたと同時に、ビュルルツと巨大な肉棒の先端の穴から大量の性液が放たれる。

それは一度や二度ではなく。

